



# 金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和2年10月 6日  
福島市立金谷川小学校  
児童数 81名  
校長 宍戸 与一

## 本校の特色を生かし、授業や行事に一層工夫します

朝晩がめっきり涼しくなり、秋風の吹く季節となりました。暑かった日々がなぜかもう遠くに感じられます。季節的には、運動に取り組むにも勉強をするにもとてもよい季節となりますが、まだまだ新型コロナウイルス感染症予防対策を行ったうえで活動となります。10月、例年ですと各学年の学習や活動も残り半分となり、折り返しに入るところですが、今年度は何となく感覚がずれてしまっているような気がします。

安全面を第一に置きながら、発想の転換や工夫で、実施できることに取り組んでいきます。2日は、6年生の只見線学習列車がありました。18日は、地区と共催の運動会。24日は学習成果の発表の場としての学習発表会、29・30日は宿泊学習。いずれも例年とは違い規模を縮小しての実施となります。放課後の消毒作業も、スクール・サポート・スタッフの佐藤さんが毎日丁寧に取り組んでいます。しかし、気をつけていても感染はあり得ることです。生活も大切。予防も大切。偏見や差別への留意も大切。「With コロナ」と言われている中、協力し合って、心のバランスをうまく保ちながら過ごしていきたいものです。

### 【10月 生活のめあて】

- 言葉づかいに気をつけよう。
- 大きな声であいさつしよう。



人と人との触れ合いは、言葉によって深まっていきます。最初の触れ合いがあいさつです。コロナ禍の中で、大きな声であいさつすることはなかなかできませんが、相手に対してお辞儀や会釈をする動作でも表すことができます。子どもたちを見守ってくださる地域の皆様から、「あいさつがいいですね」とのお褒めの言葉もいただきました。

言葉遣いは、相手の気持ちを思いやることから始まります。お互いが気持ちのよいあいさつをすることにより、心のつながりができてきます。また、人を傷つける言葉や乱暴な言葉は、互いの関係を悪くしてしまいます。言葉遣いは、学校での生活だけではなく、家庭や友達同士の会話や、日頃の言葉遣いも大きく影響してきます。ご家庭や地域においても、相手に応じた適切な言葉遣いができるように見守っていただき、学校と共に子どもたちを育てていただきたいと思います。

## 秋の交通安全運動

### ありがとうございました。

9月30日まで、秋の交通安全運動が行われました。PTA健全育成部の皆様をはじめ、地域の見守り隊の皆様には、日頃より子どもたちの見守り等で、登下校を支えていただきありがとうございます。日暮れが早くなり、季節の深まりを感じます。同時に夕方、人の動きが見えにくくなっています。保護者の皆様も、くれぐれも安全運転をお願いします。

お聞きになったでしょうか。巡回パトカーから流れた交通安全を呼びかけるアナウンスの声は、6年の本田季久さんと楠田友亜菜さんでした。



「こんなに取れました」

1・2年生 校庭南側で栗拾い